

自由集会 F1 ワークショップ「知られざる食肉目動物の世界～東欧と日本」

8月26日（金）14:50～16:50

企画者 増田隆一（北海道大学 大学院理学研究院）

私たちは、2010年6月からブルガリアの研究機関との共同研究を始めました。当初は、研究の進め方を試行錯誤し戸惑うこともありましたが、共同研究が進むにつれ、バルカン半島南部に位置するブルガリアは、ヨーロッパとアジアの動物相の両面を有していることが明らかとなり、その豊かで多様な自然と哺乳類に魅了されながら研究に取り組んできました。

本集会では、以下の共同研究の参加メンバーが、遺伝的多様性分析、におい物質分析、糞内容物分析、自動撮影カメラなどの様々な研究手法を駆使し、この12年間に得られた多様な食肉目動物に関する研究成果について、ブルガリアを中心に近隣の東欧諸国や日本における研究との比較も交えて紹介します。また、本集会タイトルと同様の書名の書籍が、まとめの成果物として本年9月に出版されます（次ページ参照）。

この場をお借りして、共同研究に際して大変お世話になりましたトラキア大学、ブルガリア自然史博物館、東バルカンブタ協会のスタッフに深く御礼申し上げます。

- 1) 増田 隆一（北海道大学） ブルガリアの哺乳類、自然、文化
- 2) 金子 弥生（東京農工大学） アナグマのにおい物質と生態
- 3) 角田 裕志（埼玉県環境科学国際センター） ジャッカルの分布拡大と人間社会
- 4) 西田 義憲（北海道大学） イタチ科動物の遺伝的多様性
- 5) 久野 真純（東京大学） テンの食性と多様性

各講演 20 分、総合討論 20 分

Diversity of Carnivora in East Europe and Japan

知られざる

食肉目動物の

多様な世界

～東欧と日本～

9月17日
発売!

増田隆一・金子弥生 編著

オオカミ・キンイロジャッカル・ヨーロッパヤマネコ・
テン・ヒグマ・アナグマ・キツネ等、
東欧と日本の食肉目動物の幅広い魅力と
様々な研究成果を知ることができる1冊。
多様なコラムも満載!



第I部 フィールドからの多様な世界

序章 東欧の生物と自然の多様性

- 1章 ポーランド、ブルガリアの食肉目動物
- 2章 ジャッカルの分布拡大と人間社会との関係
- 3章 ヨーロッパヤマネコの毛色と食性
- 4章 テンの食性と多様性
- 5章 ブルガリアの食肉目動物における種の多様性と保護

第II部 研究室からの多様な世界

- 6章 アナグマのにおい物質と行動
- 7章 糞から明らかになるキツネの生態
- 8章 食肉目と免疫系遺伝子の多様性
- 9章 食肉類に寄生する条虫の巧妙な生活環

第III部 文化からの多様な世界

- 10章 ブルガリアの狩猟文化と動物の文化的利用
- 11章 ヨーロッパと日本のヒグマとクマ文化
- 12章 ブルガリアの家畜
- 13章 ブルガリアにおける研究留学
- 終章 EU地域の生物多様性保全政策と食肉目動物の将来

カラーグラビア付き

A5判 本文295頁
定価 3,300円
(本体価格3,000円+税10%)



■発売元・お問い合わせ先

中西出版株式会社

〒007-0823 札幌市東区東雁来3条1丁目1-34

電話 011-785-0737 FAX 011-781-7516